

1. 受賞団体・個人の名称

なかさつないむら

中札内村農業協同組合(北海道河西郡中札内村)

(問い合わせ先) 電話:0155-67-2211

(経歴)

昭和46年から耕畜連携による有機質資源の地域内循環に取り組み、昭和58年から枝豆導入を試み、栽培技術の改善により5年輪作の確立や化学肥料・化学合成農薬の5割削減を達成するとともに、枝豆農家全員がエコファーマー認定を受けるなど、地域ぐるみで環境保全に取り組んでいる。

(受賞時の経営内容)

枝豆作付面積:518ha、同生産戸数:100戸

2. 生産面での取組

① コントラクターを介した堆肥の投入による土づくりと、土壤診断データに基づき土壤肥沃度に応じた適正施肥を実施し、化学肥料を慣行の5割以下に削減。

② 気象データを活用したアブラムシの発生予察システムの活用、機械除草の導入のほか、枝豆ほ場周辺に「エン麦」を植える「額縁栽培」(農薬ドリフト防止、アブラムシ飛来防止などに効果)を義務付け、化学合成農薬の使用を5割以下に削減。



③ 枝豆栽培の課題であった収穫作業を大幅に省力化するため、高性能ハーベスターを導入し、作付面積拡大が可能となり、5年輪作を確立。輪作体系の改善により、他の作物の病害虫の発生抑制等にもつながり、畑作物全体の品質が向上。



3. 経営面での取組

- ① 高性能ハーベスターの導入により生産コストの大幅な削減が可能となり、所得が向上。
- ② 枝豆の急速冷凍加工施設の導入により、収穫後3時間以内に冷凍加工する体制を確立。より安全な冷凍枝豆を製造・販売するため平成23年10月に北海道独自の「北海道HACCP」の認定を取得。
- ③ 枝豆は自然環境に配慮しつつ作付拡大を図るとともに、枝豆加工施設やコントラクターの整備により労働力の確保が容易となり、安定した農業経営を確立。

4. 取組の成果

① 地域ぐるみで環境保全型農業に取り組んできた結果、枝豆以外の作物にも取組が広がり、村内農家戸数153戸のうち109戸(71%)がエコファーマー認定を取得。



② 安全で高品質な枝豆は全国の生協・スーパー・外食産業・学校給食のほか海外へも輸出され高評価を得るとともに、地域ぐるみでの環境保全型農業の取組が評価され、中札内村農業全体が高い評価を得ている。

5. 地域社会への貢献

① JAでは食育にも積極的に取り組んでおり、毎年、地元小学校を対象に枝豆加工施設の見学会を実施しているほか、生協組合員や大学生などを招き、視察及び体験実習を実施。



② 食品加工場からの残渣による良質堆肥の製造と農地への還元、農業者以外の住民とも連携した道路脇の花壇整備やゴミ拾いといった農村環境の美化など、地域ぐるみでの環境保全に取り組む町づくりによって、観光客の来村者数の増加に結びつき、地域経済を潤している。